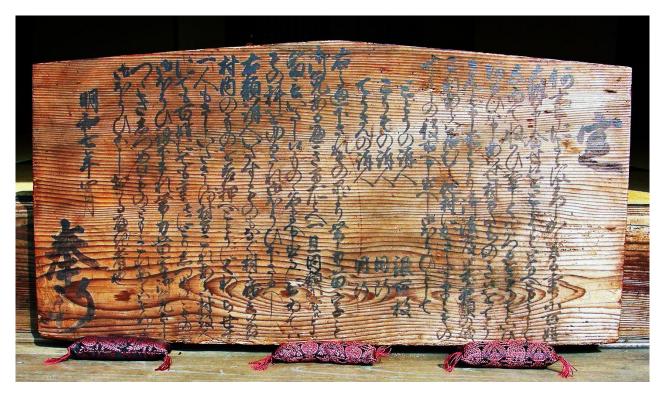
小岩井家古文書

高札 「徒党札」

維新時 旧来の高札は取外し保管することの触書により保管されたもも



形状:横長五角形 主要寸法 横長さ:91cm. 中央部高さ:46cm, 左右高さ:43cm

板厚:4cm, 材質:ケヤキー枚板 裏側にそり防止や取付けの細工あり

右類訴人いたすものもなく村々騒立候節

その科をゆるされ

御ほうび下さるべし

村内のものを差押へ ととうにくわらせず

明和七年 四月 されるべき者也

御ほうび銀下され帯刀苗字御免

さし

つづきしづめ候ものどもこれあらばそれ

にても百姓にても重きにとりしづめ候ものは

一人もさしいたさざる村方これあらば村役人

発言いたし候もの之名まへ申出るにおゐては 神じの役所へ申出べし 御ほうびとして こうその訴人 同 断 こうその訴人 同 断 こうその訴人 同 断 ととうの訴人 同 断 にうさんの訴人 同 断

ねがひ事

くはだつるをこうそといひ

村方たちのき候をてう

大勢申合せ候をととうと となへ ととうして

によらずよろしからざる事に百姓

定

さんと申 前々より御法度に候條

右類の儀

申あはせ

奉行